

がんサポートチーム

青野 奈々、廣常 秀人

がんサポートチームは、医師、看護師、薬剤師、MSW、心理士、栄養士など多職種から成り、診断早期からの緩和ケアの実践を主治医、病棟看護師と連携して、横断的なチーム医療を展開している。院内外での各職種向けの緩和ケア研修会では、講師をつとめている。また、院内外の医療従事者を対象とした年6回のセミナーも開催している。代替補完療法としてのアロママッサージ・アロマセラピーを院外から研究生をむかえて行っている。また、地域医療との連携を図り、外来への移行、在宅医療の導入、緩和ケア病棟・ホスピスへの転院などをスムーズに行っていけるような体制も今後構築していきたい。

【2014 年度研究発表業績】

A-0

Independent Validation of the Japanese Version of the EORTC QLQ-C15-PAL for Patients with Advanced Cancer.

Miyashita M, Wada M, Morita T, Ishida M, Onishi H, Sasaki Y, Narabayashi M, Wada T, Matsubara M, Takigawa C, Shinjo T, Suga A, Inoue S, Ikenaga M, Kohara H, Tsuneto S, Shima Y. J Pain Symptom Manage. 2015 Jan 12. pii: S0885-3924(15)00033-0.

Kawanishi C, Aruga T, Ishizuka N, Yonemoto N, Otsuka K, Kamijo Y, Okubo Y, Ikeshita K, Sakai A, Miyaoka H, Hitomi Y, Iwakuma A, Kinoshita T, Akiyoshi J, Horikawa N, Hirotsune H, Eto N, Iwata N, Kohno M, Iwanami A, Mimura M, Asada T, Hirayasu Y : Assertive case management versus enhanced usual care for people with mental health problems who had attempted suicide and were admitted to hospital emergency departments in Japan (ACTION-J): a multicentre, randomised controlled trial. The Lancet Psychiatry Vol.1(3), p193-201, 2014

A-2

廣常秀人、丸山総一郎：心的外傷後ストレス障害とトラウマ。丸山総一郎（編）：「ストレス学ハンドブック」 p 205-220.創元社（大阪）2015年3月

A-5

廣常秀人分担研究（以下研究協力者）梅本 愛子、吉田 哲彦、疇地 道代、山路 國弘、和田 知未、安尾 利彦、大谷ありさ、森田 眞子、岳中 美江：「抗 HIV 療法に伴う心理的負担、および精神医学的介入の必要性和ネットワーク形成に関する研究」（研

究代表者白阪琢磨：厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV感染症およびその合併症の課題を克服する研究」平成 24-26 年度総合研究報告書）、p111-118、2015 年 3 月

廣常秀人分担研究（以下研究協力者）梅本 愛子、吉田 哲彦、疇地 道代、山路 國弘、和田 知未、安尾 利彦、大谷ありさ、森田 眞子：「抗 HIV 療法に伴う心理的負担、および精神医学的介入の必要性とネットワーク形成に関する研究」（研究代表者白阪琢磨：厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV 感染症およびその合併症の課題を克服する研究」平成 26 年度総括・分担研究報告書）、p95-98、2015 年 3 月

A-6

尾池真理：見てすぐ使えるツール付き 緩和ケアはじめて実践マニュアル 消化器症状「プロフェッショナルがんナーシング」、第 4 巻 4 号、P.64-65、メディカ出版、2014 年 8 月

B-3

廣常秀人：「救命救急センターにおける精神医学的問題－精神科医の立場から－」交流集会Ⅴ「精神的問題のある救急患者への対応」、第 16 回日本救急看護学会学術集会、2014 年 10 月、大阪

太田順一郎、廣常秀人（司会）：松岡豊、中川敦夫：倫理委員会主催第 4 回臨床研究教育セミナー「臨床疑問を研究疑問に構造化する」「臨床研究デザイン入門：科学性と倫理」、第 55 回日本児童青年精神医学会総会、2014 年 10 月、浜松

疇地道代、山路國弘、和田知未、廣常秀人：「リエゾン精神科による母子への支援」、児童青年期シンポジウム「総合病院における児童精神科医療の現状と課題（パート 3）母子をめぐる連携」、第 27 回日本総合病院精神医学会総会、2014 年 11 月、筑波

B-4

廣常秀人（座長）：一般演題 57「災害精神保健医療」、第 20 回日本集団災害医学会総会・学術集会、2015 年 2 月、東京

青野奈々、里見絵理子、和田知未、上田純子、尾池真理、齊藤明音、井出恭子、道川綾加、田中景子、廣常秀人：「がん終末期におけるステロイドパルス療法施行の実態」、第 19 回日本緩和医療学会学術大会、兵庫、2014 年 6 月

B-5

上田純子：「フェンタニルレスキューの使い方」、第 10 回大阪緩和ケア連携カンファレンス、大阪、2014 年 11 月

上田純子、下司有加：「HIV 陽性者の連携支援の実際～HIV 合併悪性疾患患者の連携を振り返って～」、平成 26 年度中核拠点病院連絡調整員会議、東京、2015 年 3 月

B-8

廣常秀人：「M-8 コミュニケーション」平成 26 年度国立病院機構大阪医療センターがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 大阪 2014 年 11 月

廣常秀人（司会）：大阪医療センター安全衛生委員会主催ラインケア研修「～身近な事例から知るラインケアの実際～あぁ実感～」(演者：夏目誠)、大阪、2014 年 5 月

廣常秀人（講師およびスーパーヴァイズ）：第 26 回大阪精神療法研究会、講義「力動的面接その 26」および症例スーパービジョン 大阪、2014 年 4 月

廣常秀人（講師およびスーパーヴァイズ）：第 27 回大阪精神療法研究会、講義「力動的面接その 27」および症例スーパービジョン 大阪、2014 年 8 月

廣常秀人（講師およびスーパーヴァイズ）：第 28 回大阪精神療法研究会、講義「力動的面接その 28」および症例スーパービジョン 大阪、2014 年 10 月

廣常秀人（講師およびスーパーヴァイズ）：第 29 回大阪精神療法研究会、講義「力動的面接その 29」および症例スーパービジョン 大阪、2014 年 12 月

廣常秀人（講師およびスーパーヴァイズ）：第 30 回大阪精神療法研究会、講義「力動的面接その 30」および症例スーパービジョン 大阪、2015 年 3 月

廣常秀人（司会および研修講義）：「HIV 感染症患者に対する精神医学的介入の現状と課題」、HIV 感染症と精神科医療に関する研修会、2014 年 2 月、名古屋（厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業H I V感染症及びその合併症の課題を克服する研究：分担研究「HIV 陽性者の心理的負担、および精神医学的介入の必要性和ネットワーク形成に関する研究」活動の一環として）

廣常秀人（スーパーバイザー）：大阪府自殺未遂者支援部会事例検討会、2014 年 5 月、6 月、7 月、9 月、10 月、11 月、2015 年 2 月

廣常秀人：地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立精神医療センター東日本大震災
みやぎ子ども支援センター 児童精神科医等専門職派遣による相談支援、石巻市立釜小
学校 2014年7月、9月、11月、2015年1月、3月、石巻

和田知未：「判断同意能力に問題を持つ患者のがん治療チームにおける精神科の関わり
について」、第46回京阪神カンファレンス、大阪、2014年4月

和田知未：「身体治療場面におけるメンタルな側面」、浪速区歯科医師会学術講演会、大
阪、2014年5月

青野奈々：「緩和ケア研修会の開催にあたって」「オピオイドを開始するとき」、平成26
年度国立病院機構大阪医療センターがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会、大
阪、2014年11月

青野奈々：「呼吸困難」、平成26年度愛仁会高槻病院 がん診療に携わる医師に対する
緩和ケア研修会、大阪、2015年2月

和田知未：「せん妄」、平成26年度国立病院機構大阪医療センター がん診療に携わる
医師に対する緩和ケア研修会、大阪、2014年11月

上田純子：「がんサポートチームから見た麻薬のインシデント」、大阪医療センターがん
サポートチームセミナー・オンコロジーセミナー、大阪、2014年5月

上田純子：「看護理論」、平成26年度大阪医療センターがん看護教育ステップⅡ、大阪、
2014年6月

上田純子：「がん看護における必要な態度」、平成26年度大阪医療センターがん看護教
育ステップⅡ、大阪、2014年12月

上田純子：「ターミナル期にある人への看護援助」、大阪医療センター附属看護学校講義、
2014年12月

上田純子：「看取りの看護」、大阪医療センター附属看護学校講義、2015年1月

井出恭子：「症状マネジメント」、平成26年度大阪医療センターがん看護教育ステップ
Ⅱ、大阪、2014年7月

井出恭子：「がん治療に伴う看護」、平成 26 年度大阪医療センターがん看護教育ステップⅡ、大阪、2014 年 9 月

井出恭子：「がん患者の特徴と症状マネジメント」、平成 26 年度大阪医療センターがん看護教育ステップⅠ、大阪、2014 年 10 月

尾池真理：「チーム医療における看護の役割」、平成 26 年度大阪医療センターがん看護教育ステップⅡ、大阪、2014 年 12 月

齊藤明音：「診断期、治療期、長期生存期、再発期、終末期における看護～緩和ケア～」、平成 26 年度大阪医療センターがん看護教育ステップⅠ、大阪、2014 年 11 月

齊藤明音：「コミュニケーションスキル」、平成 26 年度大阪医療センターがん看護教育ステップⅡ、大阪、2014 年 12 月